

**2022未来型ワーク
新卒人材育成プログラム
報告会/共有会**

2022未来型ワーク 新卒人材育成プログラム

長期目標

5年後に組織の中核人材として会社組織の変革を推進していくような**自律型人材の育成**

- ▶ **基礎的思考 行動スタイルの習得**
- ▶ **越境学習**

参加者

同地域で活動する**他職種**の**同期入社** 14名
(技術商社/営業 工具メーカー/製造 エネルギー企業/接客他)

カリキュラム全体像

カリキュラム名	日 程	内 容
イントロダクション	DAY1	経験学習の基本
セルフマネジメント	DAY1	目標達成の技術
ロジカルシンキング	DAY1~3	イシューと枠組み 論理の三角形
ヘルプシーキング	DAY1~3	ヘルプシーキング行動術 チームワーキング

目次

経験学習

セルフマネジメント-目標達成-

ロジカルシンキング(論理思考術)

ヘルプシーキング

目次



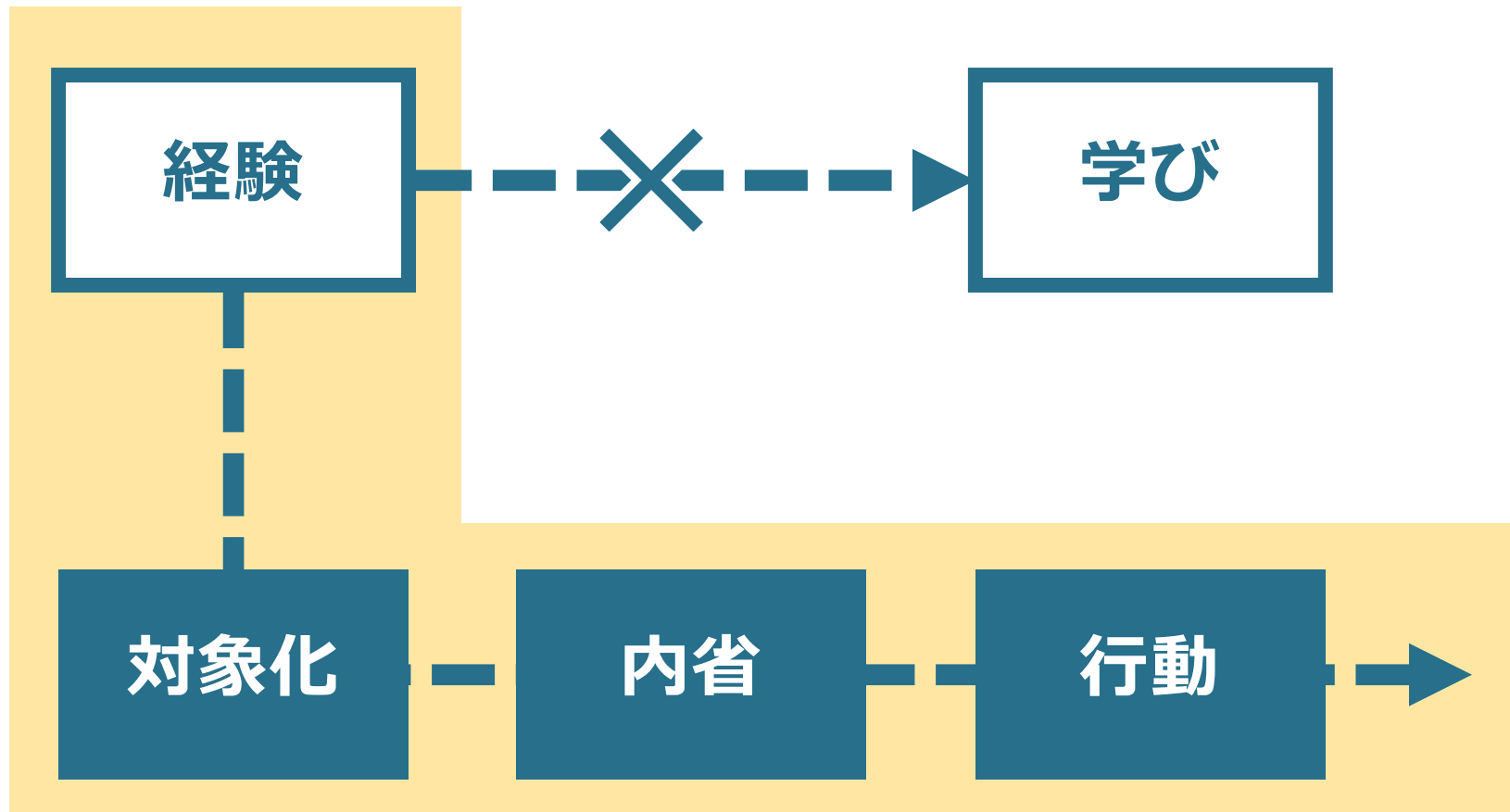
経験学習

セルフマネジメント-目標達成-

ロジカルシンキング(論理思考術)

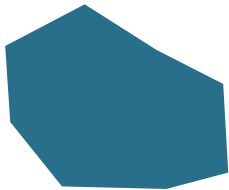
ヘルプシーキング

経験に意味づけし学習する



問いかけて学びを深める

対象化



- ① 経験を整理
- ② 学びを定める

内省



- ③問いかけて
学びを深める

行動



- ④ 教訓に変換
- ⑤ 行動に変換

学びを抽出するワーク(例)

経験	お客様先で納品中の先輩社員が 工場にあった他社の カタログを見て声掛けし 契約に繋がっていたのを見た
対象化	視野を広げると営業に繋がることもある
内省	・ 話しかけるタイミングも重要→相手を観察 ・ 経験と知識量がある→余裕が生まれる→視野が広がる
教訓に変換	・ 自社の取扱商品について知る ・ 気付いたうえで動くことが大事
行動に変換	・ 自社の取扱商品や他社の商品について勉強する ・ 社内外問わず 手伝えることはないか気にかける

目次

経験学習

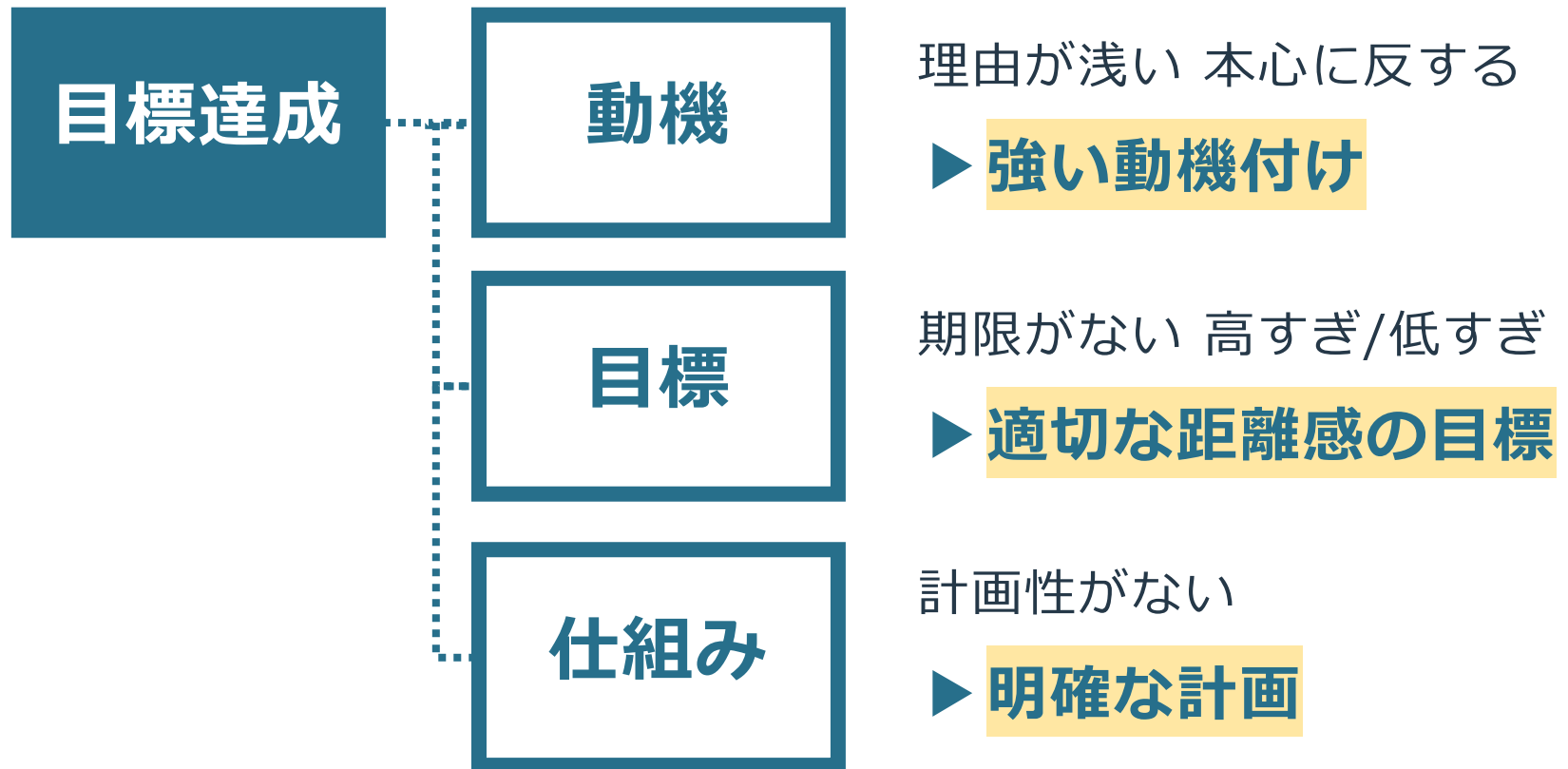


セルフマネジメント-目標達成-

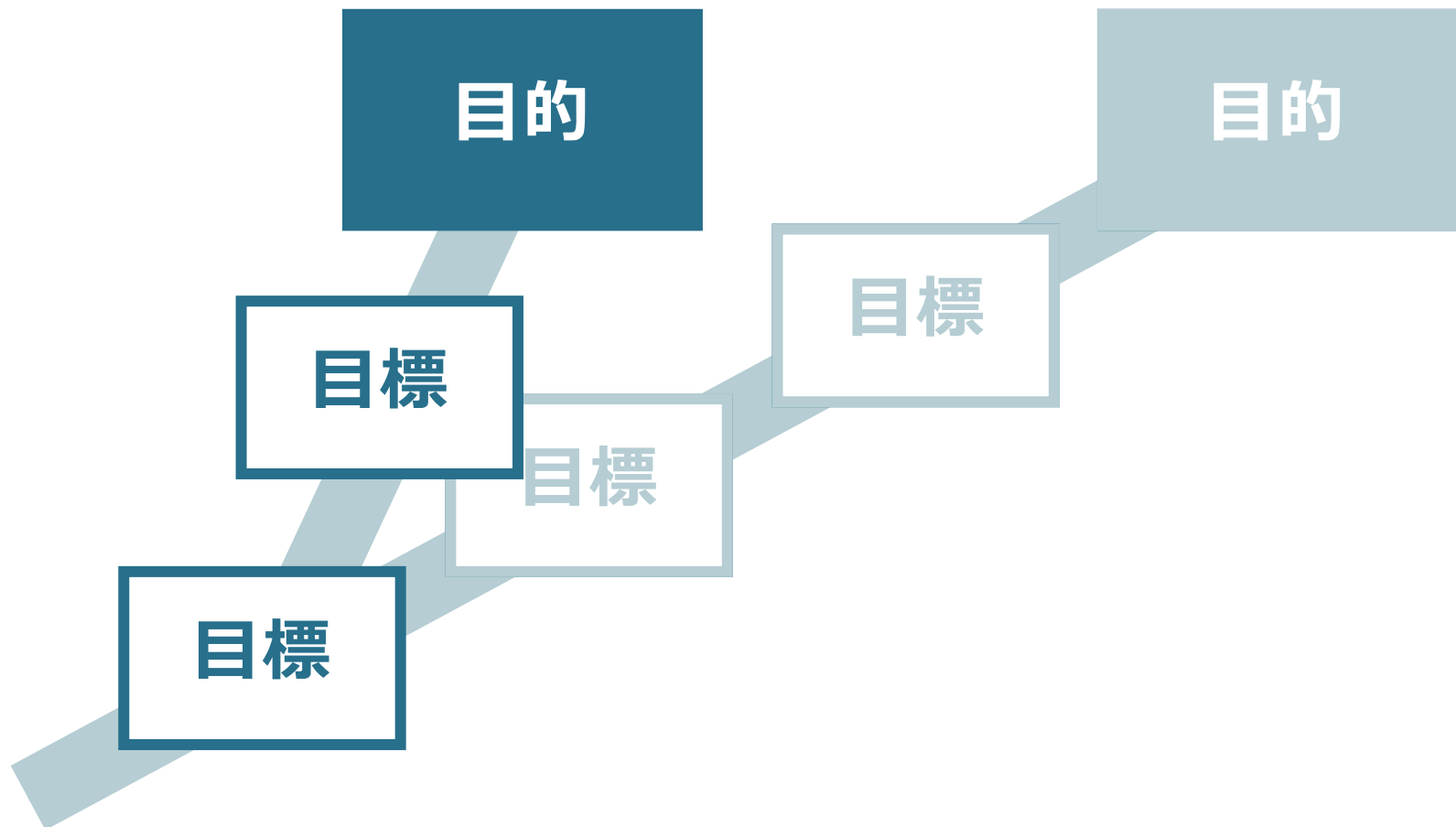
ロジカルシンキング(論理思考術)

ヘルプシーキング

目標達成のメカニズム



依存しすぎない仕組み設計



目次

経験学習

セルフマネジメント-目標達成-



ロジカルシンキング(論理思考術)

ヘルプシーキング

「悩む」を「考える」に



悩む

ぐるぐる堂々巡りする
感情的になる
自信がなくなる



考える

結論に近づく
事実を客観視する
自信を持てる

ロジカルシンキング(論理思考)とは
自分の考えを周囲に伝え物事をスムーズに
進めるための手法

イシューを定める

イシューを
定義

問題設定

価値観や立場の
違いを明らかにし
問題を探索

問題共有

探索した問題を
共有し景色合わせ

イシュー解決

意思決定 評価
しながら解く

枠組みを設定する

就活でどこにエントリーするか

情報1

情報3

情報2

アイデア1

情報4

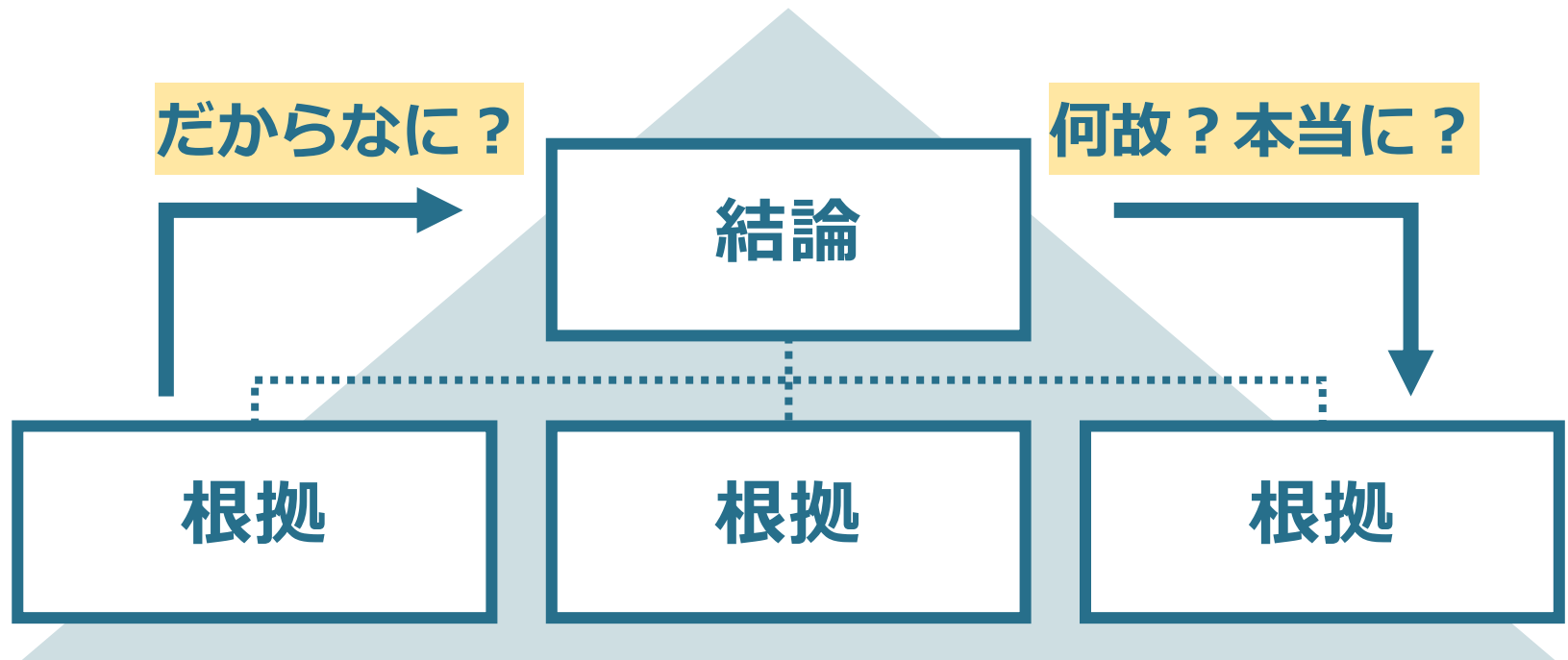
情報5

アイデア2

枠組みを設定する



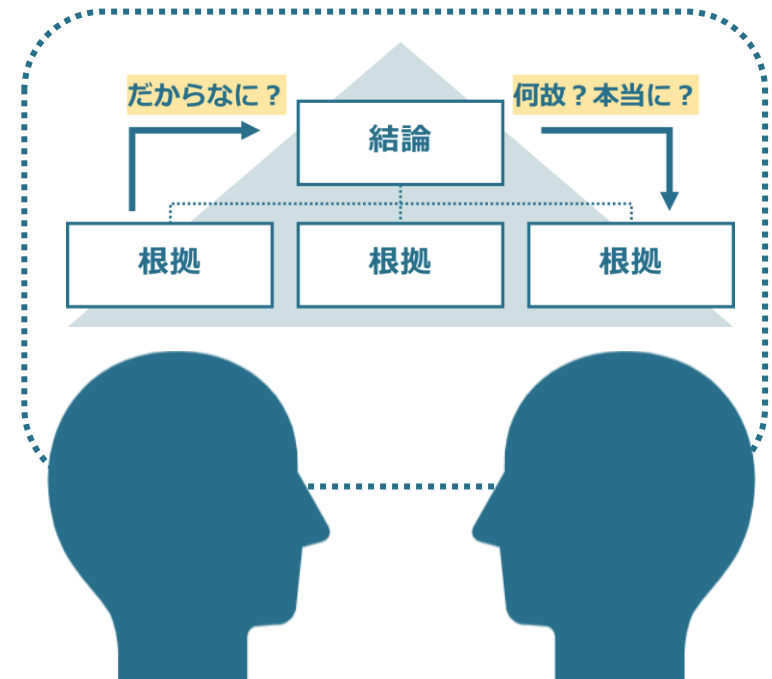
論理の三角形



自分の△を相手の頭にも

ロジカルコミュニケーション

- 結論から話す
- 根拠が複数ある
- 根拠と主張が繋がっている
- 自分の意見は最後に



目次

経験学習

セルフマネジメント-目標達成-

ロジカルシンキング(論理思考術)



ヘルプシーキング

ヘルプシーキング

…周囲に援助や支援を求めること

▶ 個人ではなく **チーム全体で問題解決を図ること**

さまざまなHSの形や対象

経験を
伝える

一緒に
考える

進捗を
共有

上司

顧客

外部

思い込みを手放す

迷惑
かけたくない

人を頼ると
成長できない

助けを求める
のは「逃げ」

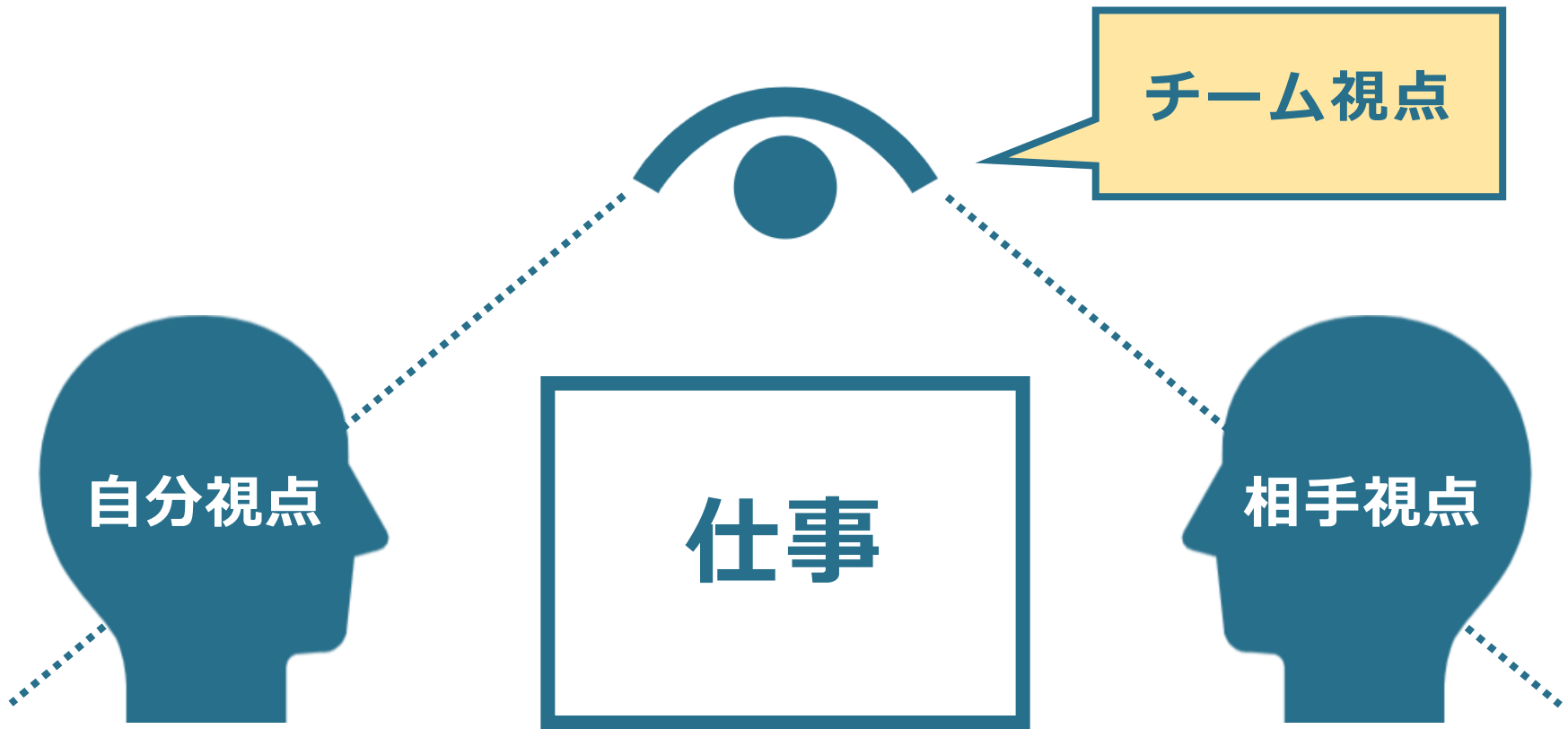
みんなも苦勞
してるから我慢



考え方や行動を磨く

- ギリギリまで抱える ▶ 素早く判断
- 「分担」で考える ▶ 「連携」で考える
- 説明できない ▶ 論理的に整理
- 頼ると罪悪感が湧く ▶ 謝罪より感謝

多角的な視点で見る



多角的な視点で見る



時短勤務を始めたが、今の業務は時短で終わられる量ではなく困っている。役割や業務の量を調整したい。

■ 多角的な事実確認

- ▶ 相談者視点
- ▶ チームメンバー視点
- ▶ 定量的な事実

■ 多角的な判断軸

- ▶ キャリア視点
- ▶ プロセス 生産性視点
- ▶ リソース視点

チームを巻き込む



チーム内でHSを行いたいですが、メンバーの反応が悪い。
再度HSのディスカッションを行うため必要な準備は？

個々の
困りごとを聞く



望ましい状態を
描く



具体的な解決策を
みんなで考える

チームを巻き込む

困りごと	実践すること
■ どこまで調べてどこから聞けばいいのかわからない	
チーム詳細	
■ 受託チーム人数：7人(内2名新人)	■ 日報で他の人の業務内容を知る
■ ~9月 仮配属で勉強中	
■ 10月~ 本配属で業務に触れる予定	■ 同じチームの同期と会話する
■ 質問されることを疎んでいる人はいない	
望ましい状態	■ 先輩社員が新人だった頃の経験を聞く
■ 適切な聞き方をしたい	
↓ 勉強してどうなりたいか	
◎ 本配属に向けての業務イメージを掴みたい	

大切なのは平常時の備え

平常時

仕事のやり方

業務の計画立案 標準化
適切な時間当たり生産性
情報収集と共有

関係の築き方

普段のチーム貢献度
仕事姿勢の評価の有無
依頼を応えてくれる距離感

緊急時

リスク予測と判断力

リスクを適切に予測し 緊急時に素早い判断をする

所感

- 他業種の同期入社仲間と学ぶこと自体新鮮だった
 - 論理思考は知識としては知っていたが演習や研修を受けて業務で生かそうとすると難しかった
-

気付き

- 4項目に繋がりがあある
 - 研修も大事だが そのあとの行動が一番大事
-

今後

- 日報の書き方改善
- わからないことは即質問➡知識の差を埋める